

年末年始の過ごし方に関する調査

- 2010年のお正月、9割が「家で過ごす」。年明けの瞬間は「家族と一緒に」87%
- お正月に楽しみなこと、「おせち・お雑煮」45%、「年賀状」37%
- 年末年始の費用を「減らす」人は、2割。「外食や食費」「初売りなどショッピング」を減らす。
- 2010年の目標は、1位「貯金」47%、2位「ダイエット」34%、3位「資格取得・スキルアップ」25%

2009年12月24日
株式会社マクロミル
(証券コード：3730)

株式会社マクロミル(本社：東京都港区、代表：杉本哲哉)は、全国の20～69歳の男女を対象に、「年末年始の過ごし方に関する調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2009年12月10日(木)～12月14日(月)。有効回答数は1000名から得られました。

【調査結果概要】

【1】2010年のお正月、9割が「家で過ごす」。年明けの瞬間は「家族と一緒に」87%

全国の20歳以上を対象に、年末年始をどこで過ごす予定か尋ねたところ、「自宅」が71%、「(親・義親の住んでいる)実家」が20%と「家」で過ごす人の合計は9割となりました。

また、年明けの瞬間を誰と過ごすか尋ねたところ、「家族」が87%と大多数を占めています。

また、年末年始に予定している「行事」は、「雑煮を食べる(71%)」、「年越しそばを食べる(70%)」が7割を超え、次いで「大掃除(68%)」、「おせち料理を食べる(63%)」「初詣に行く(50%)」でした。

【2】お正月に楽しみなこと、「おせち・お雑煮」45%、「年賀状」37% 若年層は「福袋・初売り」、高齢層は「年賀状」も楽しみ。

お正月に楽しみなことについて尋ねたところ、「おせち・お雑煮を食べる」が45%で最も多く、次いで「年賀状」が37%、「家族・親戚で集まる」が34%となりました。

年代別にみると、「福袋・初売りに行く」「地元の友人と集まる」は若年層ほど高く、一方「年賀状」「箱根駅伝を見る」は高齢層ほど高くなっています。

【3】年末年始にかかる費用を「減らす」人は、2割。 「外食や家での食費(65%)」「初売りなどのショッピング(51%)」を減らす。

例年に比べた年末年始にかかる費用の増減をきいたところ、「減る」と回答した人は21%となりました。

「減る」と回答した人に、どのように減らすか尋ねたところ、「外食や家での食費を抑える」が65%で最も高く、次いで「初売りなどのショッピングを控える」が51%となっています。不景気による年末年始の過ごし方の変化について自由回答で尋ねると、「例年はスキーに行っていたが、給与カットになったので今年は家でテレビを見る」「牛のすき焼きを豚のしゃぶしゃぶに変更」「ボーナスがでなかったので買い物を控える」など、お正月関連の消費を控える意見が寄せられています。

【4】2010年の目標は？ 1位「貯金」47%、2位「ダイエット」34%、3位「資格取得・スキルアップ」25%

2010年の目標について尋ねたところ、「貯金」が47%で最も多く、次いで「ダイエット」が34%、「資格取得・スキルアップ」が25%となりました。

男女別にみると、男性では「資格取得・スキルアップ」が31%と女性(19%)に比べ高く、女性では「ダイエット」が41%と男性(27%)に比べ高くなっています。

「年末年始の過ごし方に関する調査」

【調査結果詳細】

■調査概要

調査方法：	インターネットリサーチ								
調査地域：	全国								
調査対象：	20～69才の男女（マクロミルモニタ会員）								
有効回答数：	合計 1000s		20代	30代	40代	50代	60代	小計	
		男性	93s	110s	92s	113s	91s	499s	
		女性	91s	107s	92s	113s	98s	501s	
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
		44s	72s	339s	182s	165s	57s	31s	110s
※性・年代・地方別に平成17年国勢調査の構成比に合わせる形で回収した。									
調査日時：	2009年12月10日（木）～12月14日（月）								
調査機関：	株式会社マクロミル								

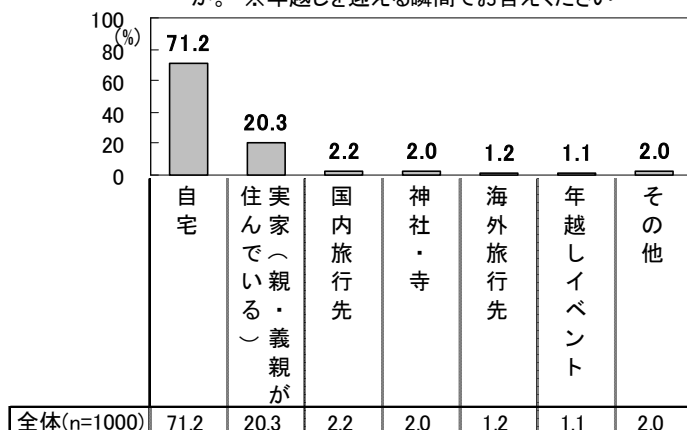
■ 2010年のお正月は「家で過ごす」人が9割。「家族と一緒に」87%

全国の20才以上を対象に、年末年始をどこで過ごす予定か尋ねたところ、「自宅」が71%、「(親・義親の住んでいる)実家」が20%と「家」で過ごす人の合計は9割となりました。【図1】

また、年明けの瞬間を誰と過ごすか尋ねたところ、「家族」が87%と大多数を占めています。【図2】

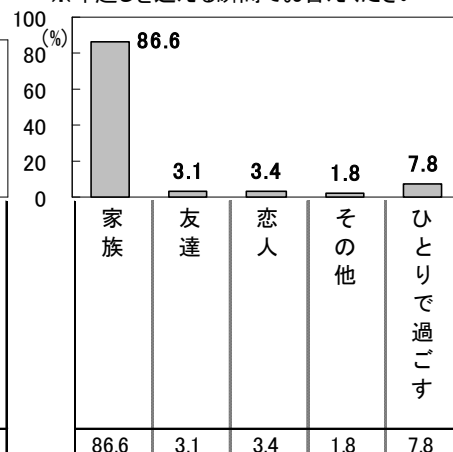
【図1】今年の年末年始を過ごす場所
(単一回答)

Q.あなたは、今年の年末年始をどこで過ごしますか。 ※年越しを迎える瞬間でお答えください



【図2】今年の年末年始を過ごす人(複数回答)

Q.あなたは、今年の年末年始をだれと過ごしますか。 ※年越しを迎える瞬間でお答えください



■ 年末年始の行事、今年「雑煮・年越しそばを食べる」予定の人は7割

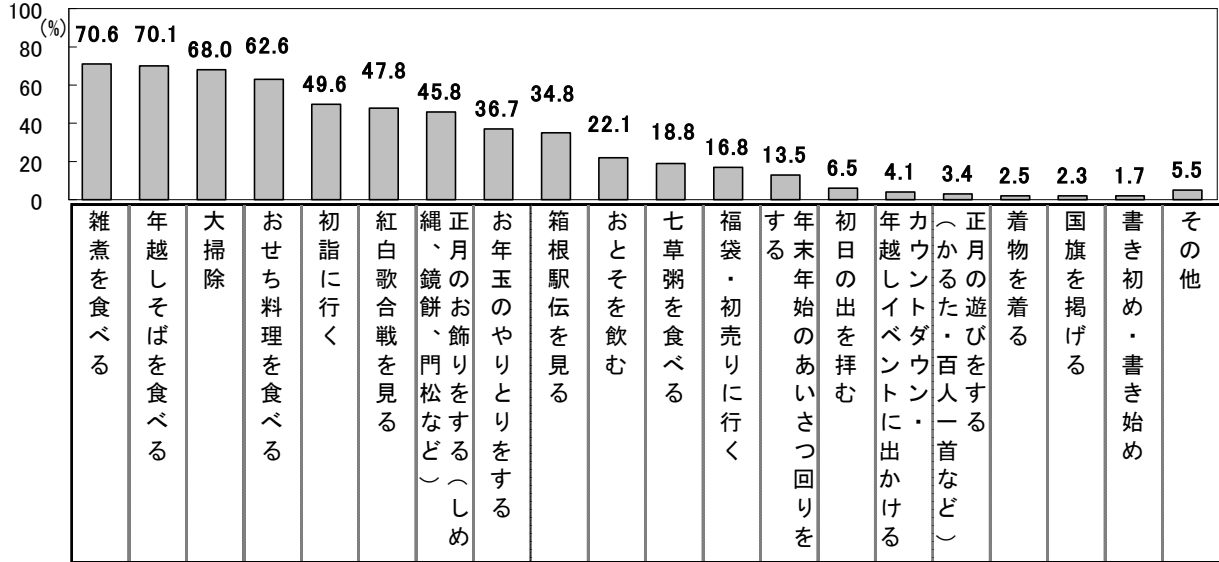
「大掃除をする」68%、「おせち料理を食べる」63%、「初詣に行く」50%

年末年始に予定している「行事」について尋ねたところ、「雑煮を食べる」「年越しそばを食べる」が7割を超え、次いで「大掃除（68%）」、「おせち料理を食べる（63%）」「初詣に行く（50%）」でした。

【図3】

【図3】今年の年末年始の過ごし方(複数回答) <n=1000>

Q.あなたの「家」で、今年(2009年末～2010年始)行う予定の年末年始の行事をお答えください。



■ お正月に楽しみなこと、「おせち・お雑煮」が45%、「年賀状」が37%。

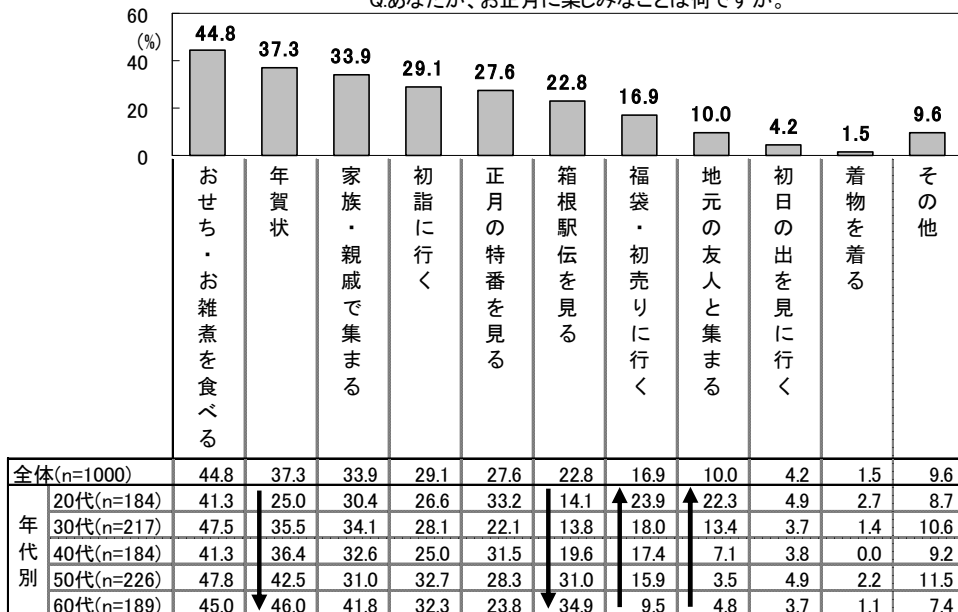
若年層は「福袋・初売り」「地元の友人と集まる」、高齢層は「年賀状」「箱根駅伝」。

お正月に楽しみなことについて尋ねたところ、「おせち・お雑煮を食べる」が45%で最も多く、次いで「年賀状」が37%、「家族・親戚で集まる」が34%となっています。

年代別にみると、「福袋・初売りに行く」「地元の友人と集まる」は若年層ほど高く、一方「年賀状」「箱根駅伝を見る」は高齢層ほど高くなっています。【図4】

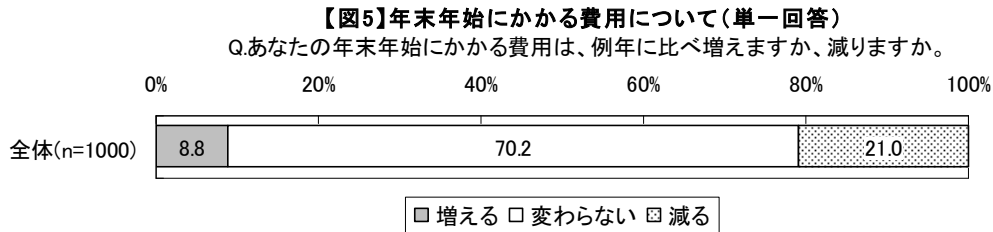
【図4】お正月に楽しみなこと(複数回答)

Q.あなたが、お正月に楽しみなことは何ですか。



■ 年末年始にかかる費用を「減らす」人は、2割

例年に比べた年末年始にかかる費用の増減を尋ねたところ、「減る」と回答した人は21%、一方「増える」と回答した人は9%となっています。【図5】

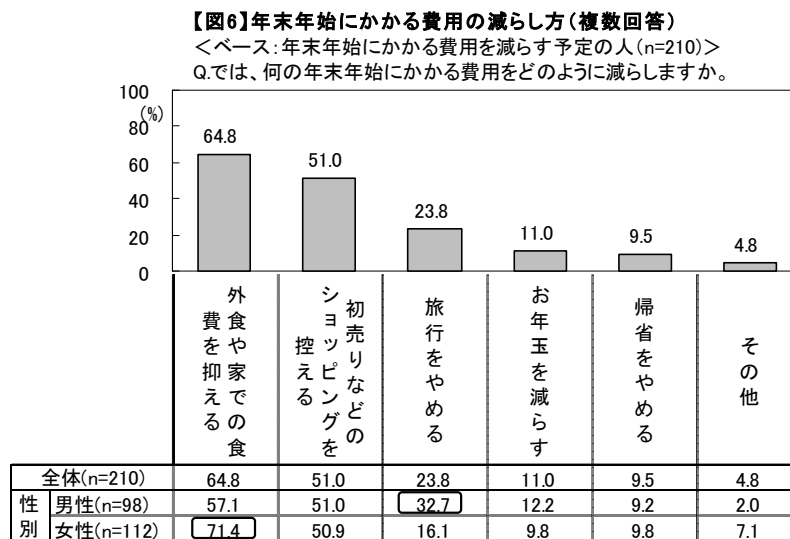


■ 年末年始は「外食や家での食費を抑える (65%)」、「初売りなどのショッピングを控える (51%)」、「旅行をやめる (24%)」

年末年始にかかる費用が例年に比べ「減る」と回答した人に、どのように減らすか尋ねたところ、「外食や家での食費を抑える」が65%で最も高く、次いで「初売りなどのショッピングを控える」が51%となっています。

男女別にみると、男性では「旅行をやめる」が33%と女性(16%)に比べ高く、女性では「外食や家での食費を抑える」が71%と男性(57%)に比べ高くなっています。【図6】

また、不景気の影響による例年の年末年始の行動の変化について自由回答で尋ねると、お正月の旅行、買い物、食事等で節約をしている様子がうかがえるコメントが多数寄せられました。【図7】



【図7】不景気の影響による2010年度年末年始の行動の変化(自由回答、一部抜粋)
Q.不景気の影響で、例年の年末年始の行動と比べて、今年は変化がありますか。ある方は具体的に記入ください。

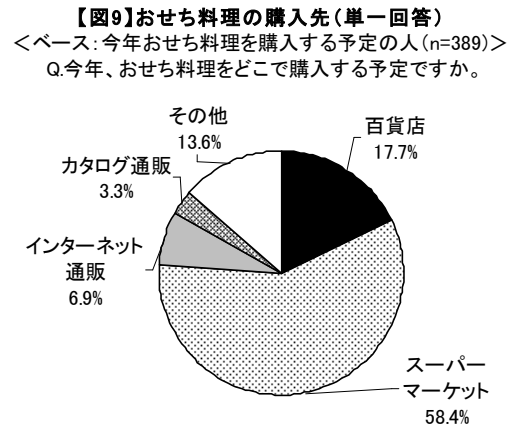
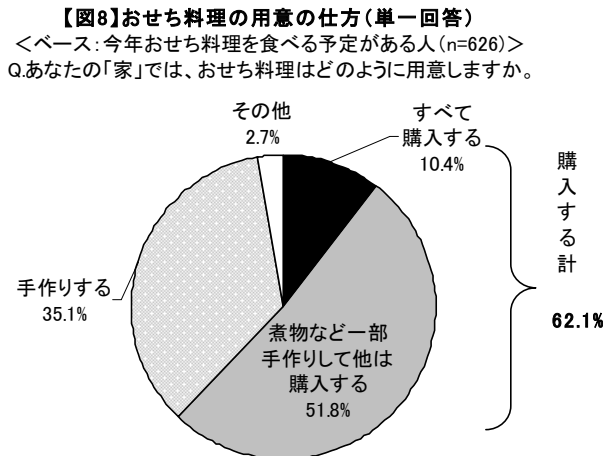
回答内容	性別	年齢(才)	未婚
例年家族でスキーに行くことが多かったが、今年は給料カットになったし、家でおとなしくTVやビデオを見る予定。	女性	50	既婚
例年は牛のすき焼きだったけど、年金生活になったし20人が集うので豚のしゃぶしゃぶに変えた。	女性	63	既婚
年末年始に向けて、大量に食材(ちょっと奮発したもの)を購入していたが、今年は色々控え目になる予定。	女性	28	既婚
正月ゴルフの回数が減る。	男性	43	未婚
初売りや福袋にかけのお金が減ると思う。	女性	39	既婚
初詣は伊勢神宮まで行っていたが今回は近くの神社になりそう。	男性	37	既婚
家族で温泉はなし。おせちの内容を節約する。	女性	64	既婚
ボーナスが出なかったので買い物は控える	女性	36	未婚
泊まりではなく、日帰り温泉旅行に行く。	女性	27	未婚
いつもは、外食が多かったが今年は家で食べようと思う。	女性	42	既婚

<おせち料理・お雑煮について>

■ 今年のおせち料理の用意の仕方、約6割が「購入する」

今年、おせち料理を食べる予定の人 (P3 図3 参照) に、どのように用意するか尋ねたところ、「煮物など一部手作りして他は購入する」が52%、「すべて購入する」は10%となっており、おせち料理を購入すると回答した人は62%となっています。【図8】

おせち料理を購入する予定がある人に、どこで購入する予定か尋ねたところ、「スーパーマーケット」が58%と約6割を占め、次いで「百貨店」が18%となっています。【図9】

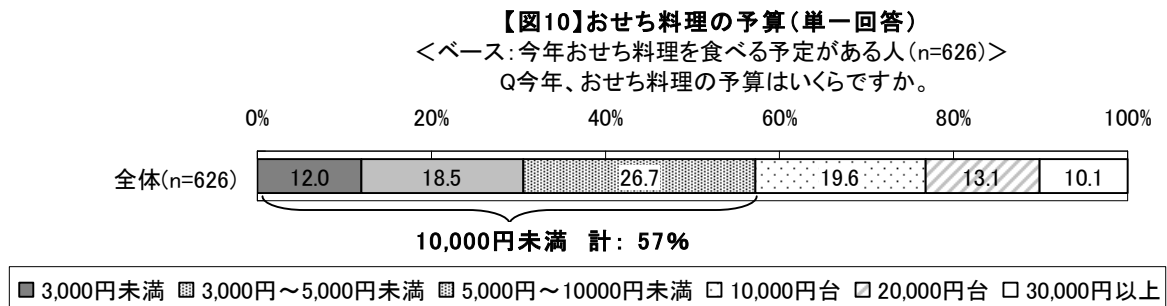


※「購入する計」は、四捨五入の関係上、各々のカテゴリーの合計と一致していません。

■ 今年のおせち料理の予算は、「10,000円未満」が約6割

今年おせち料理を食べる予定がある人に、その予算について尋ねたところ、「5,000～10,000円未満」が27%で最も多く、次いで「10,000円台」が20%、「3,000～5,000円未満」が19%となっています。

おせち料理の予算を10,000円未満に抑える人の合計は、約6割となりました。【図10】



■ 好きなおせち料理、1位「栗きんとん」、2位「数の子」、3位「黒豆」

おせち料理で好きなものを尋ねたところ、「栗きんとん」「数の子」が各々40%で最も高く、次いで「黒豆」が38%となっています。【図11】

【図11】おせち料理の中で好きなもの
(複数回答/上位10)

Q.おせち料理で、好きなものをお知らせください。

順位	全体(n=1000)	(%)
1	栗きんとん	40.3
2	数の子	39.7
3	黒豆	38.3
4	かまぼこ	30.5
5	煮物・お煮しめ	30.3
6	伊達巻	28.3
7	海老・伊勢海老	26.8
8	出し巻き卵	25.6
9	昆布巻き	20.3
10	紅白なます	18.4

■ 全国のお雑煮は千差万別。東は「四角いもち」、西は「丸いもち」。味付けも様々。

各地域のお雑煮のもちの形、味付けについて尋ねました。

日本を東西分断して地域ごとにみると、北海道地方～中部地方ではもちが「四角いもち」、近畿地方～九州・沖縄地方は「丸いもち」となっています。味付けは、全国的には「しょうゆ」が主流となっていますが、近畿地方のみ「白みそ」が最も多く、「しょうゆ」は18%と少数派となっています。また、中国、九州・沖縄地方では比較的「澄まし汁」も多いようです。【図12】

【図12】お雑煮の食べ方

Q.あなたの(例年、年末年始を過ごす)家の「お雑煮」は、どのようなタイプですか。餅、味付けについてお答えください。

		全体(n=1000)	
主な餅の タイプ (単数回答)	1	四角いもち	60.1
	2	丸いもち	33.6
	3	あん餅	1.0
主な味付け (単数回答)	1	しょうゆ	60.7
	2	澄まし汁	18.9
	3	白みそ	12.2

		地域別										
		北海道地方(n=47)		東北地方(n=77)		関東地方(n=299)		中部地方(n=205)				
主な餅の タイプ (単数回答)	1	四角いもち	87.2	1	四角いもち	87.0	1	四角いもち	83.9	1	四角いもち	84.4
	2	丸いもち	6.4	2	丸いもち	9.1	2	丸いもち	10.4	2	丸いもち	13.7
	3	あん餅	0.0	3	あん餅	0.0	3	あん餅	0.0	3	あん餅	0.0
主な味付け (単数回答)	1	しょうゆ	87.2	1	しょうゆ	87.0	1	しょうゆ	68.9	1	しょうゆ	77.6
	2	澄まし汁	4.3	2	澄まし汁	5.2	2	澄まし汁	18.4	2	澄まし汁	14.1
	3	白みそ	2.1	3	白みそ	1.3	3	白みそ	5.7	3	白みそ	3.9

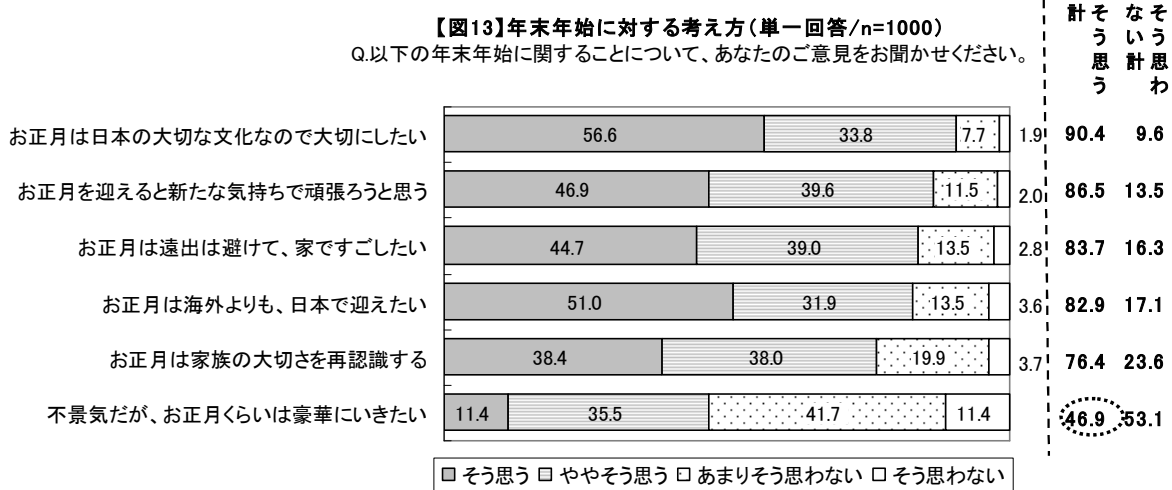
		地域別										
		近畿地方(n=153)		中国地方(n=64)		四国地方(n=40)		九州・沖縄地方(n=115)				
主な餅の タイプ (単数回答)	1	丸いもち	69.3	1	丸いもち	81.3	1	丸いもち	57.5	1	丸いもち	74.8
	2	四角いもち	24.2	2	四角いもち	7.8	2	四角いもち	25.0	2	四角いもち	14.8
	3	あん餅	1.3	3	あん餅	0.0	3	あん餅	15.0	3	あん餅	1.7
主な味付け (単数回答)	1	白みそ	51.0	1	しょうゆ	50.0	1	しょうゆ	45.0	1	しょうゆ	49.6
	2	澄まし汁	21.6	2	澄まし汁	29.7	2	澄まし汁	22.5	2	澄まし汁	33.0
	3	しょうゆ	17.6	3	白みそ	6.3	3	白みそ	20.0	3	白みそ	4.3

※3項目とも上位を抜粋
※地域は、例年、年末年始を過ごす地域

■ 9割が「お正月は日本の大切な文化なので大切にしたい」と思う。

年末年始に対する考え方について尋ねました。‘お正月は日本の大切な文化なので大切にしたい’という考え方について、「そう思う（そう思う+ややそう思う）」と回答した人は90%、‘お正月を迎えると新たな気持ちで頑張ろうと思う’人は87%となっています。

一方、‘不景気だが、お正月くらいは豪華にいきたい’と思う人は半数以下に留まりました。【図13】



※「そう思う計」「そう思わない計」は、四捨五入の関係上、各々のカテゴリーの合計と一致しないことがあります。

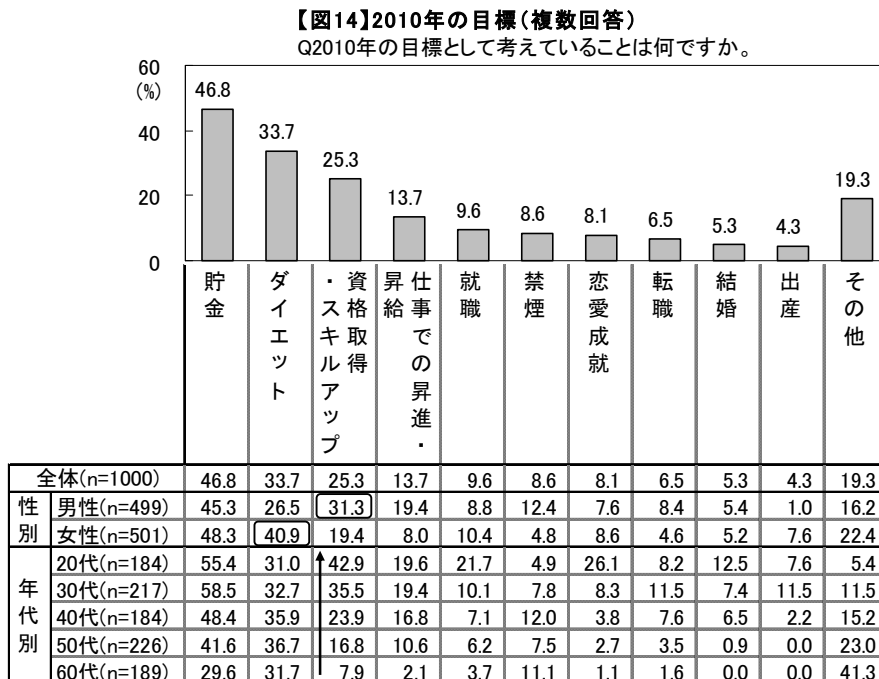
■ 2010年の目標は？

1位「貯金」47%、2位「ダイエット」34%、3位「資格取得・スキルアップ」25%

2010年の目標について尋ねたところ、「貯金」が47%で最も多く、次いで「ダイエット」が34%、「資格取得・スキルアップ」が25%となっています。

男女別にみると、男性では「資格取得・スキルアップ」が31%と女性（19%）に比べ高く、女性では「ダイエット」が41%と男性（27%）に比べ高くなっています。

年代別にみると、若年層ほど「資格取得・スキルアップ」が高くなっています。【図14】



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内 88 万人を超えるマクロミルモニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名	■株式会社マクロミル
本社	■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL	■www.macromill.com
設立	■2000 年 1 月 31 日
資本金	■9 億 3,035 万円 ※2009 年 6 月末現在
上場取引所	■東証一部 (証券コード : 3730)
代表者	■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉
従業員数	■288 名 ※2009 年 11 月末現在
事業内容	■インターネットを活用した市場調査 (ネットリサーチ)

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクロミル 広報担当：大野
 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」

